

学年	中学3年	教科	国語	科目	書写	単位数	1
教科書名	新しい書写一・二・三年 (東京書籍)			副教材名	新しい書写硬筆練習帳 二・三年用		
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

- ・身の回りの表現から文字文化を知り、表現の効果を考えながら文字を書くことができる。

II. 授業のねらい

- ・これまでに身に付けてきた書写力を活かして、場面に応じた用具や書体、レイアウトを考えて書ける。
- ・情報を分かりやすく整理して書ける。

III. 授業の進め方

- ・毛筆、硬筆ともに実技練習を中心として進める。

IV. 学習上の留意点

- ・毛筆道具、教科書を毎回持参する。
- ・道具は適切に管理し、練習に支障をきたさないようにする。
- ・技能向上のために、自ら考えながら積極的に練習する。
- ・実際の生活で生かすことを意識して学ぶ。

V. 定期試験

授業内で学期ごとに1～2回の実技テスト

VI. 評価の方法

実技テスト、忘れ物、取り組み姿勢

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	ガイダンス 行書を使った漢字かな交じりの書 「喜びの声」(行書)	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	以下の点に留意して書くことができる。 ・行書の特徴 ・漢字とかなの調和 ・字形 ・文字の大きさ ・墨量 ・配置 ・全体構成
	5	「国際社会」(行書)		
	6	「花鳥風月」 実技テスト		
	7	硬筆		
一学期	9	行書を使った漢字かな交じりの書 「栄光のかけ橋」	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	以下の点に留意して書くことができる。 ・漢字とかなの調和 ・配置 ・墨量 ・全体構成 ・書き初めを通して大字作品をまとめることができる。 ・中国古典と臨書の意義
	10	細字の学習(小筆) 俳句や短歌、詩を表現したい意図に基づいて書く		
	11	実技テスト 書き初め		
	12	中国の古典 「永和九年」		
三学期	1	思いを文字で表そう 自分で選んだ言葉を、表現したい意図	実技テスト 忘れ物 取り組み姿勢	・3年間の学習を生かして自分の選んだ言葉を書くことができる。 ・書体やまとめ方の基本を踏まえ、効果的に書くことができる。
	2	に基づいて書く 実技テスト		
	3			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。